

第 8 講座 データと確率

チェック① データの活用

- ・ 相対度数… $\frac{(\text{その階級の度数})}{(\text{度数の合計})}$
- ・ 平均値… $\frac{(\text{階級値}) \times (\text{度数}) \text{の合計}}{(\text{度数の合計})}$

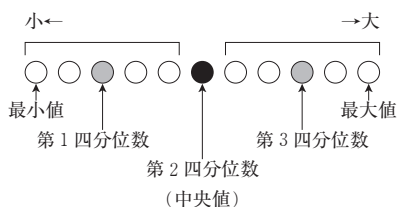
1 右の表は、あるクラスの生徒40人のテストの得点の度数分布表と、相対度数の分布表である。ア～エにあてはまる数を求めなさい。

階級(点)	度数(人)	相対度数
以上 未満		
50 ～ 60	4	ア
60 ～ 70	10	イ
70 ～ 80	ウ	0.30
80 ～ 90	8	0.20
90 ～ 100	エ	0.15
計	40	1.00

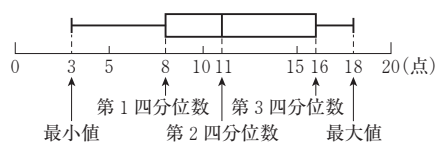
※データに関する値を扱うときは、「 $\frac{8}{40}=0.2$ 」のようにわり切れる値でも、「0.20」のように他の値と桁数をそろえて表す場合が多い。

チェック② 四分位数と箱ひげ図

- ・ 四分位数…データを小さい順に並べたとき、そのデータを4等分したときの3つの区切りの値のこと。



- ・ 箱ひげ図…「四分位数」「最小値」「最大値」を用いて、データの散らばりのようすを表した図。



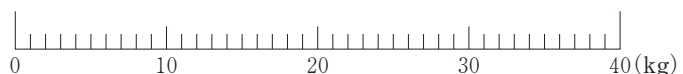
ア〔 〕 イ〔 〕
ウ〔 〕 エ〔 〕

2 次のデータは、ある中学校の女子生徒13人の握力の記録をまとめたものである。このデータについて、表にあてはまる数を答え、箱ひげ図をかきなさい。

24 16 20 31 13 9 35 29 23 16 25 28 38 (kg)

最小値	第1四分位数	第2四分位数	第3四分位数	最大値

(kg)



チェック③ 確率

確率… $\frac{(\text{そのことがらの起こる場合の数})}{(\text{起こりうるすべての場合の数})}$

ことがらAが起こる確率を p とすると、Aが起こらない確率は、 $1-p$ で求められる。

3 1から50までの整数を1つずつ書いた50枚のカードがある。その中から1枚のカードをひくとき、次の確率を求めなさい。

(1) 10以下の整数のカードをひく確率

〔 〕

(2) 7の倍数のカードをひく確率

〔 〕

(3) 7でわり切れない整数のカードをひく確率

〔 〕

■ ■ ■

[]

階級(分)	階級値(分)	度数(人)	(階級値)×(度数)
以上 未満 0 ～ 7	3.5	7	24.5
7 ～ 14	10.5	17	178.5
14 ～ 21	17.5	16	280.0
21 ～ 28	24.5	8	196.0
28 ～ 35	31.5	2	63.0
計		50	742.0

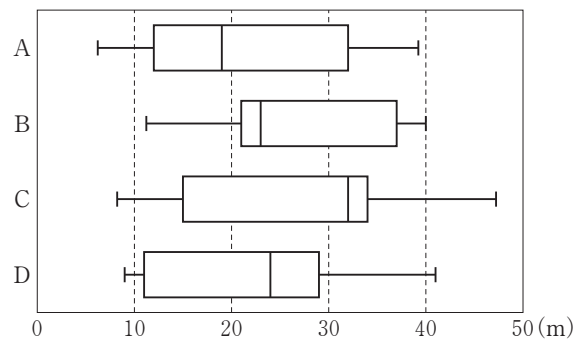
2 四分位数と箱ひげ図 右の図は、A、B、C、Dの4つの中学校で、それぞれ生徒100人のソフトボール投げの記録を調べ、箱ひげ図に表したものである。このとき、次のア～エにあてはまる中学校をそれぞれ答えなさい。

ア 記録が10m未満の生徒はいない。

イ 記録が40m以上の生徒がいない。

ウ 記録が30m以上の生徒が少なくとも50人いる。

エ 記録が30m以上40m未満の生徒が25人未満である。



ア() イ() ウ() エ()

3 コインと確率

1枚のコインを続けて3回投げるとき、次の問いに答えなさい。

$$[\quad]$$
$$[\quad]$$

[]

()

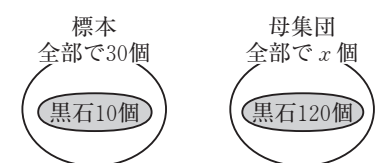
4 標本調査 ある工場で製造された製品 A の中から 80 個を無作為に抽出して、品質検査をしたところ、そのうちの 2 個が不良品であった。この工場で製造された製品 A 2000 個の中には、およそ何個の不良品がふくまれていると推定できるか求めなさい。

[]

コーチ

標本調査の解き方

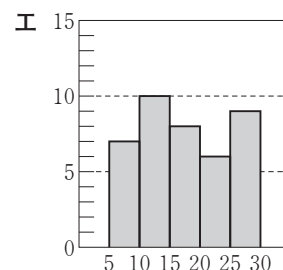
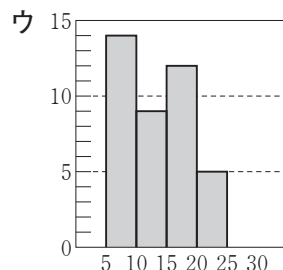
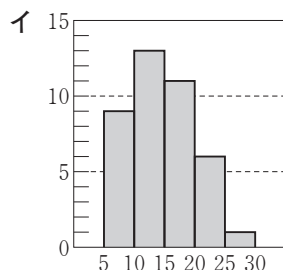
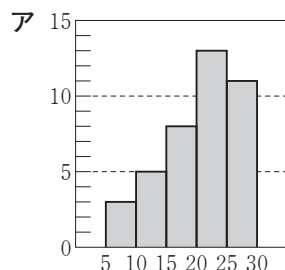
下の図で、標本における黒石の割合と、母集団における黒石の割合は同じであると推定する。



$$30 : 10 = x : 120$$

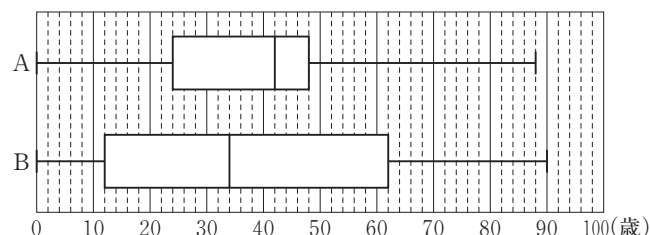
1 次の(1)～(4)にあてはまるヒストグラムをア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

- (1) 最大値がもっとも小さいものはどれですか。
 (2) 10以上15未満の階級の度数が全体の25%であるものはどれですか。
 (3) 平均値がもっとも大きいものはどれですか。
 (4) 中央値がふくまれる階級の階級値と、最頻値が同じになるものはどれですか。



(1)[] (2)[] (3)[] (4)[]

2 右の図は、A市の住民とB市の住民の年齢を調べ、箱ひげ図に表したものである。次のア～エについて、この箱ひげ図から読みとれることとして正しいものには○、正しくないものには×で答えなさい。なお、どちらの市も住民の人数は奇数であるとす。



- ア 四分位数はすべてA市の方が大きい。
 イ B市の住民の半数以上は40歳未満である。
 ウ A市よりもB市の方が範囲も四分位範囲も大きい。
 エ A市における40歳以上の住民の割合は、B市における40歳以上の住民の割合よりも大きい。

ア[] イ[] ウ[] エ[]

3 次の問いに答えなさい。

- (1) 大小2つのさいころを同時に1回投げるとき、出た目の数の積が4以下になる確率を求めなさい。

[]

- (2) AさんとBさんがじゃんけんを1回するとき、Bさんが勝つ確率を求めなさい。

[]

- (3) 5本のうち、2本のあたりが入っているくじがある。このくじを同時に2本ひくとき、少なくとも1本はあたる確率を求めなさい。

[]

- (4) 袋Aには赤玉2個と白玉2個、袋Bには赤玉3個と白玉1個が入っている。袋Aから玉を1個、袋Bから玉を1個取り出すとき、異なる色の玉が取り出される確率を求めなさい。

[]

1 次の問いに答えなさい。

-

[]

-

[]

[]

-

- []

[]

4 次の問いに答えなさい。

- $$\left[\begin{array}{c} \text{ } \end{array} \right]$$

- []